

小学校統合に関する意見①

2017年12月5日

3小学校 統合委員会様

統合委員会の皆様ご苦労様です。

統合委員会通信と町ホームページを読んで、感じたことと意見を伝えたいと思います。

①感じたこと

総務部会で校名候補については、多数の方の応募意見を参考にされ、町議会で決定の流れです。

しかし、保護者部会の『通学服は標準服に！』を読んで1回の会議で方向性を出すのは、早すぎると感じます。3校とも標準服の委員さんの話し合いでは、私服（自由服）などの意見はあまり出なかったのでは、と思います。（町ホームページには議事録が掲載されていないようでしたので。）

②意見 【通学服・帽子等について】

1. 広く児童・保護者・教職員のアンケートをとるなど時間をかけ、いろいろな知恵を出し合い子どもにとって納得のいく方向性（着るのは児童である）を出すように取り組んでほしい。まだまだ、時間はあると思います。

◎私は、通学服は私服（自由服）の考え方で意見を申し上げます。

（反対意見ばかりになり申し訳ありません。）

・子どもにとって、私服（自由服）の方が、未来に生きる個性や感性を育むことができる。

・みんなとちがうのと、下校時、家庭で着る服で着替えなくてよい。（多様な服がある）

・洗濯がすぐにでき、季節に合った服装で機能的に活動できる。（標準服と季節により私服を合わすと、子どもが困るような服装になる）

・一度、標準服に決めると、今後数十年は変更しないと思われるので、服の多様性に今後、違和感につながる事が起こると考えられる。

・人権的に、性同一性障害等の子ども（例：女の子がスカートをはきたくない気持ち）がいると、その子どもの気持ちや服に対する配慮の必要性を考えなければならない。

・南河内の小学校の多くが、私服です。近つ飛鳥小学校も私服です。 等

※町立学校の調和と、この大きな統合・改革で新しい小学校開校のために、委員会で1町民の願いとして検討していただければ幸いです。

その他、児童の教育環境・内容がより良くなるように願っています。

小学校統合に関する意見②

2017年 12月 18日

3小学校 統合委員会 様

統合委員会の皆様ご苦労様です。ホームページや通信の記事を読みながら、いよいよ統合に向けて動き出していることを感じる日々です。校名が決定し、これから新しい小学校の細かいの部分が、順に決まってくるのだと思います。

その中の1つの事として、統合後のクラス数（クラス人数）について、とても心配しています。3校の現在在籍の小学1年生の児童の数は、90名弱だと思います。以前、町から配布された資料の中では、クラス数が「3」と出ていたのですが、現在も3クラスでお考えでしょうか？クラス数を決める際、ぎりぎり2クラスになってしまい、45人前後の2クラスの可能性があるのでは…と、危惧しています。他の学年においても、統合後クラス規模が大きくなる可能性のある学年があると思います。私たちがこの町へ引っ越してきた理由の1つとして、「少人数の中で、行き届いた教育をわが子に受けさせたい。」という思いがあります。統合することで、小規模校の子どもには、「集団で動く力」を身に付ける機会を得ることができ、この点についてはメリットと思います。

しかし、統合することで、1クラス人数が多くなりすぎることは、3校の子どもたちにとってメリットになるのでしょうか？統合後は、今までの生活と違うということで、子どもたちも保護者も不安になったり、気持ちが揺れ動くと思います。教職員も、新しく学校を作っていく作業に追われたり、新しい人間関係を築いていく中で子どもたちのケアを行ったり、英語や道徳科など新しい学習に向けての授業研究に時間を費やしたり…と、想像するだけでもたくさんのことに対応していく必要があります。そんな過密な生活の中で、新しい学校で過ごす子どもたちに、十分な教育を行うことができるのでしょうか？。

クラス人数（クラス数）について、今までの考え方に縛られることなく、1度考えて頂きたいです。支援学級の児童も、現在「インクルーシブ教育」の流れの中、クラスで学習する時間が多いことをかんがみると、

- ・支援学級児童を含めた市独自の『少人数学級編成』

（府下で実施されている市がありました）

- ・各クラス副担任制を導入する
- ・思い切って全学年30人学級にする

など、河南町ならではの素晴らし教育環境を模索して頂きたいです。親としては、子どもたちが学びを深められる学習環境、教職員が子どもの気持ちの変化に気付いたり、指導しやすい環境になることを強く願っています。河南町の教育が、統合を機にさらに素晴らしいものとなるよう、期待しています。お願いばかりではありませんが、ご検討の程、宜しく願います。

※河南町のみんなで作っていくという観点から、公共施設に「意見箱」を設置して頂けたらと思います。住民の色々な視点で学校環境を考えていくことで、新しい学校がよりよいものになるのでは…と、思っています。

小学校統合に関する意見②への回答

平成 29 年 12 月 28 日

〇〇 〇〇 様

統合に関するご意見をいただきありがとうございます。

さて、統合後の学級編成についてですが、平成 28 年度に実施いたしました教・育環境ミーティングなどの配付資料で提示しています通り平成 31 年度は、

1 年生 55 人 2 クラス

2 年生 66 人 2 クラス

3 年生 87 人 3 クラス

4 年生 72 人 2 クラス

5 年生 91 人 3 クラス

6 年生 84 人 3 クラスと試算しています。

現在、本町では、1～2 年生は 1 クラス 35 人以内、3～6 年生は 1 クラス 40 人の学級編成を行っています。そのため、ご危惧いただいております 45 人前後のクラスになることはありません。

また、少人数における指導についてもメリットは十分あると認識しております。本町では、算数や理科などでは習熟度別にクラスを分けて授業を行ったり、1 クラスに複数の教員を配置して授業を行うなどして、子どもたちの学力向上に努めてまいりたいと考えております。

統合後においても十分な教育が受けることができるようにするため、小学校統合委員会内に教職員で構成する教育課程部会で研究会を設置し、現在、新設校の教育内容などについて協議しております。

さらに、子どもたちが新しい人間関係が築けていけるように、本年度から事前の交流学习を計画的に行っておるところです。

小学校にあっては、児童が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことが必要であることを踏まえ、一定の集団規模を確保するために、小学校統合を進めてまいりたいと考えております。何卒、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

なお、学校づくりへの意見については、小学校統合通信や町ホームページなどに、意見の送付先を掲載し、メール、FAX、郵送などによりご意見をいただければと考えております。